

新規就農者の動向について

令和3年9月1日作成
宮城県農政部農業振興課

1 令和2年度の新規就農者数 174名 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

2 新規就農者の推移

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
人数	102	113	172	179	170	173	183	171	158	158	174

※調査対象年齢：15歳以上65歳未満

3 就農形態別

	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
自営就農者	52	8	0	21	21	15	2	1	60
雇用就農者	77	19	9	50	21	13	2	1	96
新規参入者	14	4	0	4	8	5	1	0	18
合計	143	31	9	75	50	33	5	2	174

※自営就農者：農家出身者で、自家農業（一戸一法人も含む）に就農した者。

雇用就農者：農業法人等で雇用されて就農した者（パート、アルバイト等の非正規雇用は除く。農家出身、非農家出身を問わない）。

新規参入者：非農家出身で農地の取得等により新たに農業経営を開始した者や、農家出身者であっても、親等の経営基盤によらず、自ら農地や施設の取得等を行い新たな農業経営を開始した者。

4 新規就農者の動向

- (1) 令和2年度の県全体の新規就農者数は174人（前年差+16人）である。前年から増加しており、県の新規就農者の確保目標（年間160人）を上回る水準を維持している。
- (2) 年代別では、10歳代～20歳代は84人（前年差+8人）、30歳代は50人（前年差+3人）、40歳代は33人（前年差+3人）、50歳代～60歳代は7人（前年差+2人）、となった。
- (3) 就農形態別では、雇用就農者は96人（前年差+3人）と前年度より増加し、全体の約55%を占めている。自営就農者は60人（前年差+10人）と前年度より増加、新規参入者も18人（前年差+3人）と前年度より増加した。

5 農業改良普及センター別

普及センター	自営就農	雇用就農	新規参入	合計	(参考) R1合計
大河原	8	22	3	33	22
亘理	7	18	5	30	30
仙台	8	20	4	32	18
大崎	7	6	1	14	16
美里	7	1	0	8	10
栗原	7	8	0	15	13
登米	12	10	2	24	29
石巻	4	8	3	15	12
気仙沼	0	3	0	3	8
合計	60	96	18	174	158

6 営農部門別

営農類型	自営就農	雇用就農	新規参入	合計	(参考) R1合計
水稻	22	28	1	51	51
野菜	23	38	15	76	63
花き	0	1	1	2	2
果樹	3	4	1	8	6
肉牛	8	8	0	16	18
酪農	4	7	0	11	8
養豚	0	8	0	8	3
菌茸	0	1	0	1	2
その他	0	1	0	1	5
合計	60	96	18	174	158

※ 複数経営の場合には、そのうちで主な部門としている。また、雇用就農者の場合には、雇用先の主な部門または雇用就農者が従事している部門としている。